

読む ミルク



3月11日に発生した東日本大震災の状況は目を覆うもので、被災地の皆様には心からお見舞い申し上げます。

日々、震災報道を見ながら、ふっと感じたことがあります。いろいろな支援がおこなわれていますが、問題は「女性だからわかる支援がどこまでされているのか？」です。

今回の震災で女性たちの会話に出てくるのが、「ブラジャー(ブラ)、生理、授乳、下着干し、化粧水、乳液」。ブラは、窮屈なのと長時間

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

ではワイヤーが痛いので、外して寝る女性が7割近くいるといわれています。でも、避難所は周囲に人が多く、ブラの着脱は大変ですし、ノーブラ状態も気になります。対処法として、窮屈でない夜用ブラや長時間着けていても楽なノンワイヤーブラがあることを、男性は知らないと思

るかもしれません。女性はその状態でも心が潤ったり沈んだりします。化粧水がでず、すっぴんでいるだけでなく、手入れができません。肌を化粧水と乳液で潤すだけでも、男性には理解できないかもしれません

女性で幅広い知識を持っている人か、分野ごとに一定の人数を集める必要があります。となると、指揮や窓口となる女性議員や公務員の女性管理職比率が気になりました。今回の県議選では59人が立候補して、43議席を争いましたが、女性の当選者は1人だけ。全国の都道府県議会の女性議員の割合も平均8.1%(2009年末の総務省調査)にとどまっています。都道府県の公務員管理職に占める女性の割合は、年々増えているとはいえ6%くらいです。これでは、女性の一人として有事でなくても心もとないかぎりです。

被災女性に支援を

います。生理や授乳に関しても、どのように対処や支援すればいいかは、同性でないとわかりません。下着干しも、女性は家族以外の男性に見られたくありません。化粧水と乳液による肌の手入れも、歯磨きと同じくらい女性には必要です。「それどころでないだろう」と思われ

が、力が戻り前を向くことができるのです。そのほかにも男性には言えない、言っても理解されない相談や希望がたくさんあると思います。また、同じ男性ばかりに相談すれば、仲を誤解されることもあるでしょう。年齢や家庭、社会環境も違います。このため、女性に特化した支援を統括することは、

※女性起業家交流会 in HOKURIKUは、16日にワコールとの震災支援イベントでセミナーを開催します。詳細、申し込みは<http://www.jkk-hokuriku.jp/>